

平成30年度地域少子化対策重点推進事業実施計画書（市町村分）個票

市町村名 小山町
 本事業の担当部局名 経済建設部 おやまで暮らそう課

事業メニュー	優良事例の横展開支援
区分	結婚に対する取組
関連事業メニュー	1-(3) その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組
個別事業名	おやま出逢い大社 縁結び結婚応援事業
実施期間	交付決定日 ~ 平成31年3月31日
所要見込額	2,882 千円 補助率： 1/2 （交付金所要額： 1,441 千円）
各区分における取組の全体像及びその中での本個別事業の位置付け	<p>小山町においては、「小山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」により、「結婚・出産・子育て環境の整備により若者世代の希望に応える」ため、結婚へのファーストステップとして出逢いの場の創出事業に取り組み、婚活支援事業（おやま出逢い大社）を推進している。</p> <p>今回行おうとする取組は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度から取り組んでいる結婚支援相談員による結婚相談・仲介支援事業を、更にステップアップし、「地域を巻き込んだ結婚を応援する環境づくり」を推進し、よりきめ細かな支援を行えるようにする。 また、「縁結び」を目的とした結婚応援団（結婚支援相談員等）を確保するための養成講座を開催し、婚活サポート希望者の増加を図る。 ・定期的に婚活交流サロンを開催し、相談員と相談者、または相談者相互の交流を図る。 ・結婚支援相談員の活動との相乗効果を図るため、若い世代が少子化問題を自分自身の問題として考える契機となる結婚セミナーやイベント等を実施し、結婚への意識改革を推進する。併せて、セミナー、イベント前後のフォローも含めたきめ細かなサポートをする。また、結婚応援団として企業等と連携したより効果的な結婚支援事業を展開する。 <p>活動範囲を広げるために生活環境が似ている近隣市町と連携して、情報共有や婚活イベント等を実施して交流の範囲を拡大する。</p>
	<p>（個別事業の内容）</p> <p>小山町が今まで出逢いの場の創出事業を実施して浮き上がったこととして、カップルは成立するが、その後の結婚へとつながらず、参加者に結婚を意識させる観点と結婚支援に繋ぐフォローアップが弱いこと、町内からの参加希望者が少ないことが課題となっているため、地域からの結婚を希望する参加者を増やすために地域を巻き込んだ結婚を応援する環境づくりときめ細かなフォローアップ体制の強化を推進し、町民が参加しやすい結婚支援を取り組む必要があると考えられる。また、町が実施した結婚応援事業の参加者アンケートの結果から、「町内に結婚を希望する者同士が気軽に交流できる場があれば参加したい」（70%）、「今後も積極的に婚活しようと思った」（90%）、「セミナーやイベントへの参加を友人等に薦めたい」（92%）という結果だったことから、参加者の婚活への意識が高いことがわかり、結婚に対するセミナーで学び、学んだことを活かす実践の場を実施した一連の流れ等が有効であったと推測される。</p> <p>そこで、若年層の男女を対象として、結婚を希望する若者をマンツーマンで支援するため、民生委員や婦人会等を経験した地域に精通した人材を活用し、地域の仲人さんとして男女の出逢いの相談や仲介など、結婚までの道のりをサポートする「婚活コンシェルジュ」（相談員）の育成・スキルアップから、相談者にむけた窓口の開設、相談者向けのセミナー・イベントの開催まで、結婚支援に係る一連の体制を整え、結婚に前向きな機運を醸成する仕組み作りのため、以下の事業を展開する。</p> <p>なお、いずれの事業も参加者募集については、開催ごとに行うものとする。</p> <p>①婚活コンシェルジュ養成講座の実施（参加者各回25人×4回）（681千円）</p> <p>地域の担い手として活躍する相談員の育成と、スキルアップを目的とし、少子化対策の意義や結婚事情、効果的な相談対応、相談時の注意点等を学び、相談員同士の交流を図る。</p> <p>【委託料】</p> <p>講師謝礼@70千円×4人=280千円</p> <p>※婚活に対して、専門的に教授する講師として、結婚情報誌編集長やカメラマン、マナーコンサルタント等を想定し、縁結びの支援に繋がる効果を高めたい。小山町の過去の実績として、石川英章氏70,000円、嶺井祐美子氏80,000円があります。</p> <p>教材費@500円×25人×4回=50千円</p> <p>チラシ、デザイン・印刷等（町内全戸配布7,500部） 100千円</p> <p>運営事務局経費（応募管理・受付・当日運営進行2名）@50千円×4回=200千円（過去の実績による）</p> <p>消費税 51千円</p> <p>②婚活交流サロンの実施（参加者各回10人×4回）（150千円）</p> <p>町内施設等を利用し、相談者が気軽に立ち寄れるサロンを定期的に開催し、相談員が対応にあたる。相談者との接点を増やし、結婚に向けた支援を強化するとともに、対応にあたる相談員同士の情報交換等の交流も図る。</p> <p>相談員活動費・費用弁償（婚活交流サロン当番時） @5,000円×相談員5名×4回=100千円</p> <p>※1回、1日5時間の相談対応を想定。町基準単価（結婚支援相談員）1時間1,000円に基づく。</p> <p>婚活交流サロン運営諸費（事務用消耗品に要する経費） 50千円</p>

③恋愛 & 結婚に前向きになれる自己啓発セミナーの実施（参加者各回60人（男女各30人）×2回）（983千円）

相談者の結婚に対する意識改革を目的とし、「自分自身の能力向上を図る自分磨き」、「異性と関わるために必要なコミュニケーション能力」等をテーマとした、人生ビジョンを描くことで見える結婚・妊娠・子育て・仕事等を応援するセミナーを男女別に（女性参加者に比べ、男性参加者は消極的な者が多く、少しでも会話が続くような働きかけが必要であったり、男女それぞれが恋愛や結婚に対して課題が違いため、それぞれの個々が持つ魅力を引き出すような支援を行う必要があるため）開催する。

セミナー後は、町の婚活支援事業「おやま出逢い大社」への登録を促すとともに、相談員との連携により、次に繋がる婚活支援のフォローアップ（個別相談や情報提供）を行う。

【委託料】

講師謝礼 @100千円×2人=200千円

※恋愛から結婚、子育てまでの結婚に対する意識を高めるため、その分野の有識者を招き効果を高めた。小山町の過去の実績として、山田由美子氏90,000円、大橋清明氏150,000円があります。

教材費 @30,000円×2回=60千円

チラシ、デザイン・印刷等（町内全戸配布7,500部、町内企業等2,000部、過去イベント参加者等500部）@100千円×2回=200千円

SNSリスティング広告 @100千円×2回=200千円

※町のSNSとの連携、詳細なターゲティングができるFacebook、google広告を選定

推定リーチ数1日5,000人[平成29年度実績]総リーチ数27,000人、総インプレッション数621,000件
運営事務局経費（事前応募フォーム・応募管理・受付・当日運営進行2名）@100千円×2回=200千円
（過去の実績による）

報告書作成 50千円

消費税 73千円

個別事業の内容

	<p>④出逢いの場創出イベントの実施（参加者各回60人×2回）（951千円） ②、③を経て学んだ相談者を主な対象者として、町の魅力を伝えつつ、男女が自然に交流できるイベントを開催する。 カップル成立後は、結婚へと導くフォローを相談員が行い、将来に向けての悩みや不安などを解消しながら結婚へと導く。また、カップルにならなかった参加者には、町の婚活支援事業「おやま出逢い大社」への登録を促すとともに、相談員との連携により、次に繋がる婚活支援のフォローアップ（個別相談や情報提供）を行う。 地域で結婚を応援する相談員の育成の取り組みと自己啓発セミナーの実施と連携することにより、結婚支援の高い効果が期待できる。</p> <p>【委託料】 会場費① 50千円 会場費② 30千円 チラシ、デザイン・印刷等（町内全戸配布7,500部、町内企業等2,000部、過去イベント参加者等500部）@150千円×2回=300千円 SNSリ스팅広告 @100千円×2回=200千円 ※町のSNSとの連携、詳細なターゲティングができるFacebook、google広告を選定 推定リーチ数1日5,000人[平成29年度実績]総リーチ数27,000人、総インプレッション数621,000件 運営事務局経費（事前応募フォーム・応募管理・受付・当日運営進行4名）@100千円×2回=200千円（過去の実績による） 報告書作成 @50千円×2回=100千円 消費税 71千円</p> <p>⑤結婚応援パンフレットの制作（117千円） 町の結婚支援事業（相談員による相談、仲介支援、サロン、イベント等）をまとめ、町内外の施設や企業、移住相談会等で配布し、事業の周知に努める。併せて町の婚活支援事業「おやま出逢い大社」への登録に繋げる。 パンフレット印刷（A3 カラー3つ折り）500部 （会員登録希望者50部、イベント等参加者250部、各施設100部、町内企業等100部）117千円</p> <p>【次年度以降に向けた事業の方向性】 平成31年度以降も継続して、縁結びとしての結婚応援団や相談員を増やし、研修や交流会を実施してスキルアップを図る。相談員と連携して、町の婚活支援事業「おやま出逢い大社」への登録や出逢いの創出の場としてイベントへの参加、仲介等のマッチングを支援し、次に繋がるフォローアップを図る。また、町内企業等との連携により、イベント参加者を増やしより効果を高める取り組みに繋げる結婚支援を推進する。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業：沼津市 出会い応援事業・三島市 公認婚シェルジュ事業】</p> <p>【事業実施にあたっての留意点】 本事業の実施に当たっては、実施要領記載の留意事項を踏まえて実施することとする。</p>
<p>・個別事業の重要業績評価指標（KPI）及び定量的成果目標</p>	<p>①相談員の登録数 20人（達成率 80%） 研修後の意識変容、行動変容が見られる参加者の割合 70% 相談員の支援を受けた者の満足度 80% ②参加者目標人数 延べ32人（達成率 80%） 交流サロンをきっかけとした町の婚活支援事業「おやま出逢い大社」への入会人数32人（参加割合100%） 相談への結果、結婚に対する活動に前向きになった者の割合 80% ③参加者目標人数 延べ100人（達成率 84%） 婚活への意欲が高まった参加者の割合 70% セミナーを友人等に薦めたいと思った参加者の割合 80% 相談への結果、結婚に対する活動に前向きになった者の割合 70% ④参加者目標人数 延べ100人（達成率 84%） 次も参加したいと思った参加者の割合 70% 婚活イベントの参加を友人等に薦めたいと思った参加者の割合 80%</p>
<p>・都道府県との連携・役割分担の考え方及び具体的方法</p>	<p>静岡県の子ども未来課を通じて、県のホームページや関係施設等での情報発信について積極的に提供していく。また、県内の自治体同士での情報発信の相互連携について調整し、広域的な出逢いの場の創出を図っていく。県からの制度等に関する情報提供を受けるなど効果的な取り組みとなるような連携を図る。</p>
<p>・民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法</p>	<p>本個別事業は、民間事業者への委託を想定しており、セミナー、イベント等の企画・運営、広報等のノウハウを活用し、効果的な方法、参加者の集客を行い、出逢いの場創出事業の認知度を上げる取り組みを展開したい。町はセミナー会場との調整や既存情報サイトでの告知、既存の婚活会員への周知等を担う。 町内企業等と連携し、セミナー等への参加者をより多く募集する。相談員との連携により、参加者へのフォローに繋げる。</p>
<p>・男女共同参画部局など関係部局等との連携・配慮事項</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 （関係部局等） 教育委員会 生涯学習課 （配慮すること） 結婚の希望を叶えるための取組が特定の価値観を個人に押し付けたり、個人の決定にプレッシャーを与えたりすることがあってはならないことに留意し、男女共同参画部局と連携して取り組む。</p>
<p>・委託契約の有無及び契約方式</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 ■有（以下の①～③から該当するものを選択してください） □無 ■①企画提案方式（プロポーザル方式、コンペ方式等） □②競争入札方式 □③随意契約 [事業の内容:] (①を除く) [随契約の理由:]</p>
<p>・システム等導入に係る管財部局の確認</p>	<p>※優良事例の横展開支援事業を実施する場合、記載してください。 該当する取組の有無: □有（取組名:) ■無 □有の場合の担当部局:</p>